

キャンパス / Campus	宇都宮キャンパス / UTSUNOMIYA		
科目名 / Course Title	国際交流論 2 / International Communication 2		
担当責任者 / Instructor	林 春		
開講期 / Semester / Term	後期 / AUTUMN		
履修年次 / Target Grade	1,2,3,4		
単位数 / Credits	2.0		
分野・必修選択別 / Category / Required or Elective	総合基礎科目, 基礎分野 選択, 選択 選択 / Elective		
科目ナンバー / Course Number	0000-0H211		
ディプロマポリシー、修得目標との関連 / Diploma Policy / Learning Outcome	要件所属 / Course Name	ディプロマポリシー、修得目標 / Diploma Policy / Learning Outcome	DP値 / DP Point
	経済学部地域経済学科	国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	理工学部	国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	医療技術学部柔道整復学科	DP1. 柔道整復学の関連領域における基本的な科学的知識を有する。	1
	経済学部地域経済学科	人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
	理工学部	国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	医療技術学部柔道整復学科	DP1. 柔道整復学の関連領域における基本的な科学的知識を有する。	1
	経済学部地域経済学科	国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	理工学部	学修目標 1 国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		学修目標 2 論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		学修目標 3 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	医療技術学部柔道整復学科	DP1. 柔道整復学の関連領域における基本的な科学的知識を有する。	1
理工学部機械・精密システム工学科	人文科学、社会科学、自然科学の幅広い知識から、人類や社会の福祉 増進について考察・判断することができる	1	
	異なる文化や伝統に関する知識をもって、多様な考え方を受け入れて判断することができる	1	
理工学部航空宇宙工学科	人文科学、社会科学、自然科学に関する知識を習得し、専門的な活動に活用できる	1	
	航空宇宙分野の問題において、広い分野からの知識をもって問題を判断できる	1	
理工学部情報電子工学科	多様な背景をもつ人々に対する理解や想像力を柔軟に育みつづけることができる	1	
	人間と社会と環境の関係の重要性を、人文科学・社会科学・自然科学の知識を元に理解することができる	1	
理工学部バイオサイエンス学科	専門的な知識にのみならず、豊かな教養を身につけている（一般教養）	1	
	あらゆる生命を大切に、多様な生命との共存を意識して行動できる（生命倫理）	1	
医療技術学部柔道整復学科	幅広い教養を通して柔道整復師の意義を理解できる	1	

<b>授業の概要</b> / Course Description	今日、世界の多くの地域ではグローバル化がますます進み、政治、経済、社会、文化などいずれの領域でも、ヒト、カネ、モノ、情報が国境を越えて地球上を自由に行き交うようになってきました。今日の日本社会は限りなくグローバル化しているとともに、実質的には多文化社会になっているといっても過言でもありません。まさに、「異文化コミュニケーションの時代」が到来したといえ、それだけに異文化コミュニケーションを真剣に学ぶ必要があるとも言えます。このような背景を念頭に置きながら、本講義では、異文化コミュニケーションについて様々な視点から学びます。また、第4回から第10回までディスカッションを行います。なお、この授業では総合基礎科目の学修目標1、2、3に関する態度、知識、能力を修得します。	
<b>授業の到達目標</b> / Course Objectives	国際交流と異文化について、理論と実践を通して理解し、国際的な感覚及び能力を身につけるようになります。 多様な文化を尊重し、異なる文化的背景をもつ人とコミュニケーションを取ることができるようになります。 国外の文化とそれらを背景に持つ人々の考え方を理解することができるようになります。 異文化を背景に持つ人々との共生の際の問題と現実的対応をすることができるようになります。	
<b>成績評価の方法および基準</b> / Method of Evaluation	<b>方法および基準</b> / Method of Evaluation	レポート / Report(s) 50 % リアクションペーパー / Reaction Paper 50 %
<b>試験・課題に対するフィードバック方法</b> / Method of Feedback on Exams and Assignments	<b>フィードバック方法</b> / Method of Feedback on Exams and Assignments	授業内で解説を行う / In-Class Feedback、試験やレポート等について添削し返却する / Returning Exams and Assignments with Feedback
<b>授業形態</b> / Course Style	<b>講義 / Lecture</b>	
<b>この授業におけるアクティブ・ラーニングを実現するための教育手法</b> / Active Learning Method in Class	<b>手法</b> / Active Learning Method in Class	<b>グループワーク / Group Work</b>
<b>授業におけるICTの活用</b> / Use of ICT in Class	<b>自主学习支援 (e-learning (LMS等) を活用) / Self-Study Support (Use of e-learning (LMS, etc.))</b>	
<b>事前事後学修の内容およびそれに必要な時間</b> / Study Required Outside of Class	1. 事前・事後に配布したプリントに目を通して、その内容について正確に理解するようにしてください。(30分) 2. 復習として、学習した内容を整理した後、自分の意見などを述べたうえで、感想文にまとめ、期限までに提出してください。(1.5時間)	
<b>教科書 / 参考資料 (図書・映像)</b> / Textbooks and Reference Materials	<b>教科書: 特にありません。毎回講義プリントを配布します。</b> <b>参考文献</b> 書名: 『多文化共生のためのテキストブック』, ISBNコード (978-4-7503-3450-9) 著者・編者: 松尾知明 発行所: 明石書店	
<b>その他履修上の注意点</b> / Notes	各回の授業においては、リアクションペーパーを提出することを求められています。情報電子工学科を対象とするクラスにおいて、この科目はJABEE対応プログラムの必修科目(選択必修科目)、学習・教育到達目標中項目1-1に対応する科目となります。授業計画及び使用資料は、受講学生の状況により変更する場合があります。	
<b>実務経験のある教員による授業</b> / Instructor's Practical Experience		
<b>その他外部資料等</b>	<b>リンク1</b> / Link1	
	<b>リンク2</b> / Link2	
	<b>リンク3</b> / Link3	
	<b>その他コメント</b> / Comments	

## 授業計画詳細 / Course schedule

曜日・時限・組 / Day・Period・Class	担当教官 / Details of the instructor	学習内容・行動目標 / Content of study・Goal to act	備考 / Notes
第1回	林 春	オリエンテーションを行う。 授業概要及び評価方法を説明する。 グローバルゼーションについて学ぶ。	
第2回	林 春	異文化コミュニケーションについて学ぶ。	
第3回	林 春	【コミュニケーション・スタイル】 コンテキスト 双方向コミュニケーション	
第4回	林 春	【言語コミュニケーション】 ほめ方 叱り方 謝り方	
第5回	林 春	【言語コミュニケーション】 自己紹介 誘い方と断り方	
第6回	林 春	【多文化共生】 多文化共生社会とは何か。 「自民族中心主義」と「文化相対主義」 「同化主義」「多文化主義」から「多文化共生」へ	
第7回	林 春	【多文化共生】 中国残留日本人とは 日系南米人はなぜ増えたのか。 かつて日本は移民の送り出し国だった。	
第8回	林 春	【多文化共生】 技能研修生とは 看護師・介護福祉士の受け入れの現状は？	
第9回	林 春	【多文化共生】 多文化との共生のために必要なこと 文化接触とこころの反応	
第10回	林 春	【日本文化と中国文化】 民俗:贈り物の習慣について学ぶ。	
第11回	林 春	【日本文化と中国文化】 民俗:新年と正月の過ごし方について学ぶ。	
第12回	林 春	【日本文化と中国文化】 大衆文化:国花と肉料理について学ぶ。	
第13回	林 春	【日本文化と中国文化】 文学:漢詩と日本文学者について学ぶ。	
第14回	林 春	【日本文化と中国文化】 芸術:日中のカバーソングについて学ぶ。	
第15回	林 春	これまでの講義内容をまとめる。	